

野の花新聞

No. 9 2011年2月号 「ありがとう さようなら」

みなさま、こんにちは。
野の花の みなかた あきこ です。

2月に入りました。

4日は立春です。こんな厳しい寒さの中で、春は着々と訪れる準備をしているのですね。

日向ぼっこをしていると、確かに 春の子どもたちが笑いさざめいているのが感じられます。

さて、今月はあわただしく決行した引越しのお話を・・・

ロミロミマッサージをメニューに入れてからまもなく、私は ある不都合と向き合うことになりました。

これまでも、北野のサロンでは洗濯ができないので、持って帰ってしていました。が、ロミロミでは全身にオイルを使うため、上下のシーツごと取り替えなければなりません。大量の洗濯物を抱えての通勤は、物理的にも不可能に近いと気づくのに、1週間もかかりませんでした。

野の花では、心身ともに心地良い特別な時間を過ごしていただきたいので、ふかふかシーツにこだわっています。ここは譲るわけにいかないのです。あらためて 洗濯ができる部屋を探すことに決めざるを得ませんでした。

初めてサロンをオープンした部屋 おしゃれな街並み 「居心地がいい」と喜んで通ってくださったお客さま そして、温かい思いやりをいつも届けてくださったオーナー、マスター、メンテナンスの方々・・・

9ヶ月の間に、なんてたくさんの素晴らしい出会いと体験があったことでしょう。

多くの「ありがとう」を届けて、私は北野の部屋に「さようなら」をしました。

新しい部屋が空くまで、自宅でのサロンになります。

(実は、見つけた物件が超人気物件で、いつ空きが出るかわからないのです・・・)

北野で得たたくさんのことを糧にして、一歩前に踏み出そうと思います。

またひとつ、輝く思い出が増えました。



ゆい

小型のトラ

鋭い眼光・・・

でも 入っている所は

洗濯機です・・・

